

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376300238
事業所名	グループホーム 設楽の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	自治会に入会して地域行事には参加している。利用者と職員と一緒に散歩していると近隣の人からきのこなど季節の野菜や花をもらうこともある。小学校で作っている新茶をもらいお礼として利用者と職員で手作りの雑巾を80枚ほど渡している。指人形など地域のボランティアが増えている。管理者はボランティアの人から認知症の対応の仕方など相談を受けて助言もしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	運営推進会議は年6回開催している。出席者は役場の職員や地域包括支援センター職員、地域住民代表、家族代表などである。事業所の入居情報や退居者の説明、救命訓練など話し合いをされ、出席者から意見をもらっている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	9月の大型の台風の時には、役場の職員3名が事業所に様子を見に来ている。管理者は事業所の空き情報や現状を報告して相談や助言をもらっている。また、役場で行なう介護保険事業計画策定委員会に出席している。町主催の研修に職員が参加している。その中の一つで誤嚥について注意点など学んだことを事業所の職員間で実践している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	利用者に嗜好アンケートを実施して、それを参考により利用者の要望に添えるよう話し合い検討して改善している。また、毎月1回家族に利用者の様子を書いた手紙を送付している。家族からの要望や意見はあまりでないが、介護計画作成時には要望を聞いて反映するように努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。

